

あいさつ運動の好事例

岡山市立建部中学校

(生徒数 122名 教職員数 29名)

建部中学校は「あいさつ日本一！」を目指します。

～ 地域協働学校に基づく学区の連携の取組 ～

アピールポイント

「建部町 あいさついっぱい いい気持ち」
「あいさつは みんなの笑顔の キーワード」
というスローガンのもと、「あいさつ日本一」を目指し、毎朝、校門でのあいさつ運動を実施しています。学校生活の中でのあいさつをし合うのはもちろんのこと、下校時も教職員、生徒のお互いがあいさつを交わします。他にも決めてはみませんが、毎日の登校時と下校時には地域の方が声をかけて下さったり、見守ってくださったりし、生徒も声を積極的にかけています。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

生徒数は減少傾向にあるが、明るく 素朴 素直で 真面目に取り組むことができる。伝統的な行事や生徒会活動を大事にし、活発に取り組んでいる。縦のつながりも生まれやすい環境でもある。

■活動内容

毎朝(8:00～8:15)、生徒会執行部と専門委員(計65人)が曜日を換えて交代であいさつ運動を実施。

P T A地域安全部と建部地区青少年育成協議会など地域の方にも協力をいただきながら、交通指導も兼ねて、年間6回ほど登校時に声かけ運動を実施。

■取組の参加メンバー

全生徒(日常)、教職員、保護者(P T A役員を中心として)、地域住民多数参加。

■成果・効果

あいさつ運動は受動的なあいさつになっている。積極的にあいさつができるよう取り組みたい。地域では「気持ちのよいあいさつをしてくれる」とよく言われる。